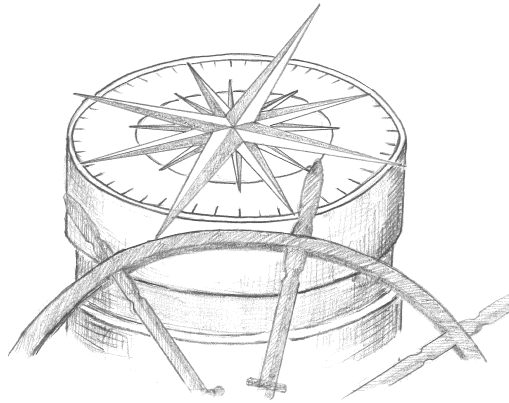


令和2年度
鹿児島学習定着度調査
姶良・伊佐地区結果分析



姶良・伊佐教育事務所

令和2年度鹿児島学習定着度調査 始良・伊佐地区の結果概要

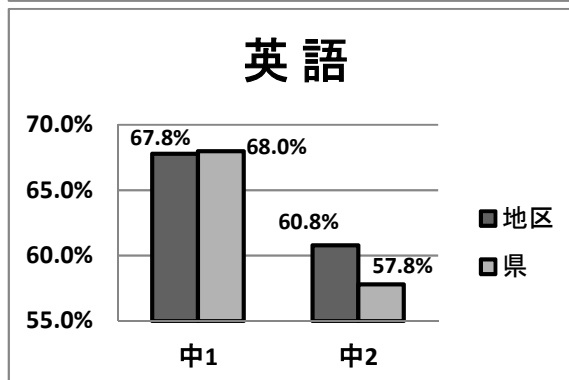
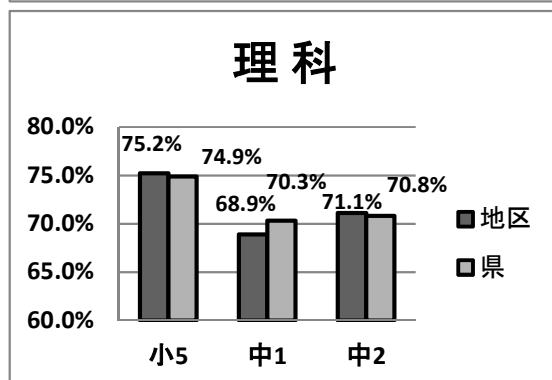
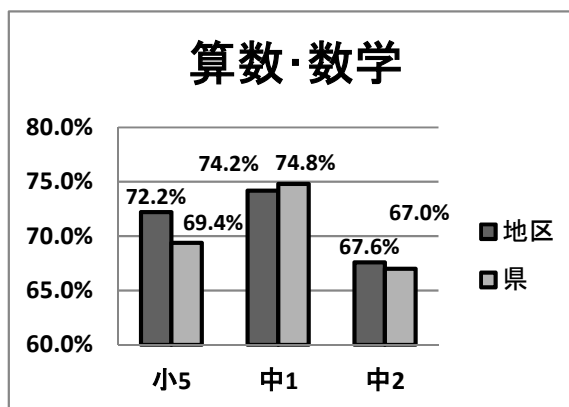
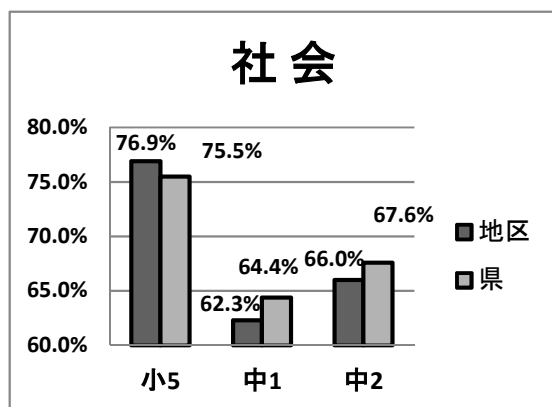
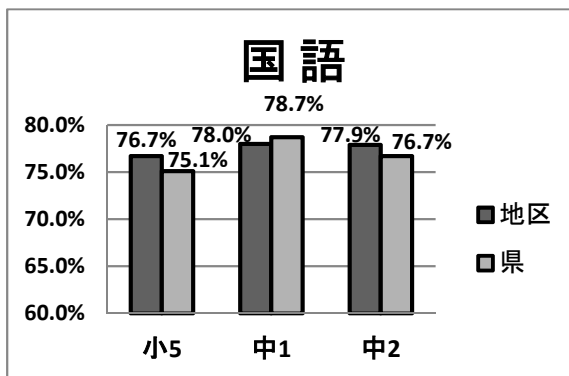
1 各教科の通過率

学年	教科	全体			基礎・基本			思考・表現		
		県	地区	県との差	県	地区	県との差	県	地区	県との差
小5	国語	75.1	76.7	1.6	81.1	82.9	1.8	63.1	64.3	1.2
	社会	75.5	76.9	1.4	80.5	81.6	1.1	68.2	70.0	1.8
	算数	69.4	72.2	2.8	75.9	78.5	2.6	53.7	56.9	3.2
	理科	74.9	75.2	0.3	75.8	76.3	0.5	73.7	73.7	0.0
中1	国語	78.7	78.0	-0.7	82.9	82.8	-0.1	73.8	72.4	-1.4
	社会	64.4	62.3	-2.1	67.1	64.8	-2.3	58.8	57.2	-1.6
	数学	74.8	74.2	-0.6	80.4	80.0	-0.4	61.7	60.2	-1.5
	理科	70.3	68.9	-1.4	71.4	69.7	-1.7	68.2	67.3	-0.9
	英語	68.0	67.8	-0.2	67.4	67.3	-0.1	69.7	69.1	-0.6
中2	国語	76.7	77.9	1.2	76.8	77.1	0.3	76.6	78.8	2.2
	社会	67.6	66.0	-1.6	67.6	66.5	-1.1	67.6	65.0	-2.6
	数学	67.0	67.6	0.6	71.3	71.5	0.2	58.5	59.8	1.3
	理科	70.8	71.1	0.3	74.3	74.6	0.3	62.3	62.5	0.2
	英語	57.8	60.8	3.0	62.6	65.6	3.0	45.5	48.6	3.1

※ 塗りつぶした数値(地区)は、目安とする通過率を下回っている。

2 結果の概要

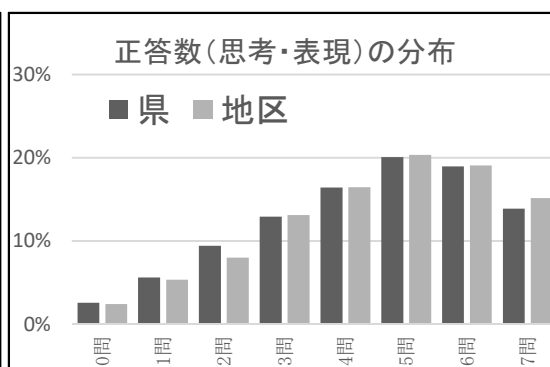
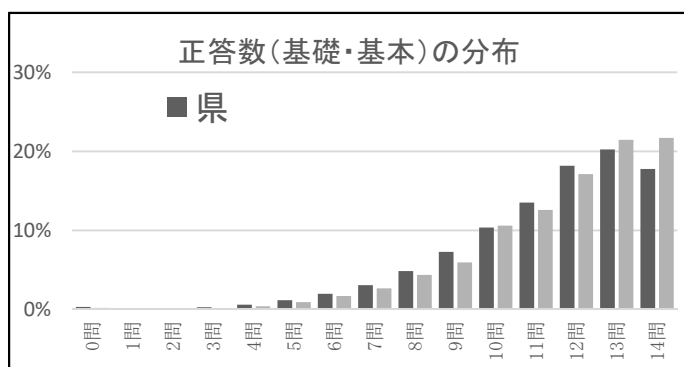
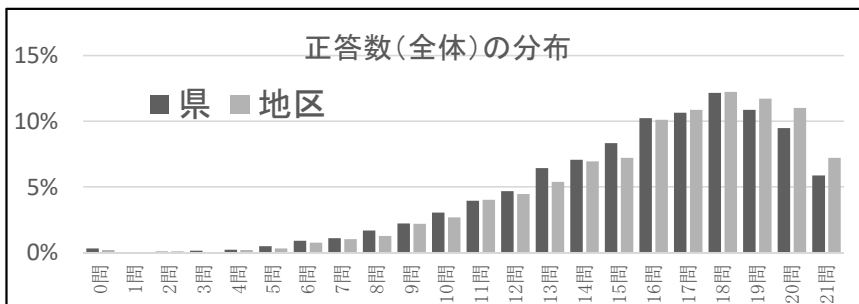
- (1) 小学校では、目安となる通過率を全ての教科(全体)で上回ったが、中学校では下回る教科が多かった。
- (2) 県と比較すると、中学校1年生は全ての教科(全体)で下回った。特に、基礎・基本については、目安の8割も下回っている教科が多いことから、確実な定着を図るべく更なる授業改善が必要である。



小学校5年 国語

	県	地区	県との差
基礎・基本	81.1	82.9	1.8
思考・表現	63.1	64.3	1.2
全体	75.1	76.7	1.6

領域名	県	地区	県との差
話す・聞く	62.1	64.7	2.6
書く	60.9	62.5	1.6
読む	64.6	65.1	0.5
伝国	81.1	82.9	1.8



【小問ごとの通過率等】

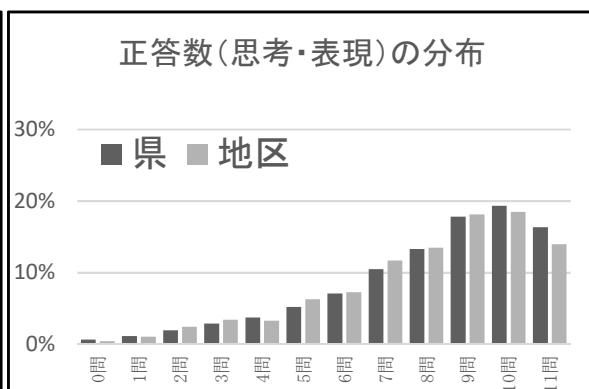
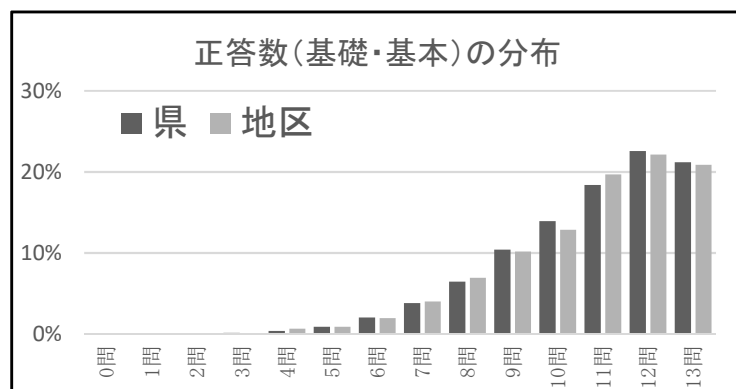
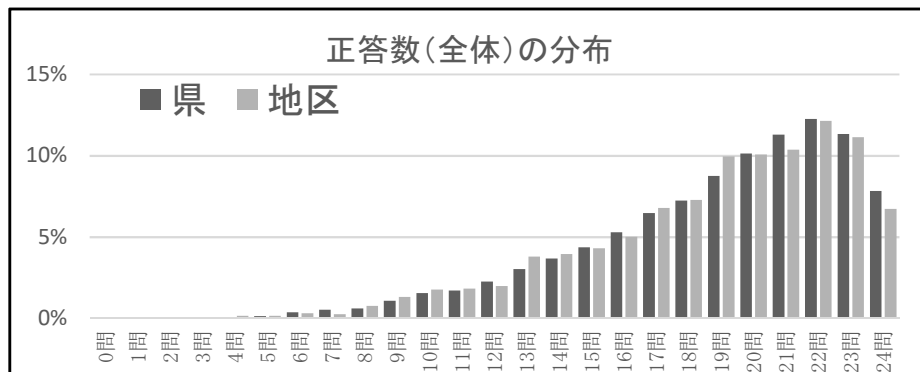
大問番号	[1]								[2]						[3]			[4]			
中間番号	一				二		三		一		二	三	四		一	二	三	一		二	三
小問番号	①	②	③	④	1	2	1	2	1	2			1	2				1	2		
県通過率	70.5%	79.5%	72.4%	93.6%	80.1%	73.2%	97.1%	74.2%	97.8%	57.1%	91.9%	90.9%	78.6%	80.4%	62.0%	62.3%	51.8%	63.6%	81.4%	62.8%	58.2%
地区通過率	71.5%	82.0%	70.9%	94.3%	82.0%	76.0%	97.3%	76.3%	97.9%	65.6%	92.9%	93.1%	79.0%	81.3%	64.7%	62.6%	53.1%	64.7%	81.5%	63.1%	60.2%
地区誤答率	27.6%	17.7%	28.9%	5.6%	12.5%	22.4%	2.7%	23.7%	1.9%	34.2%	6.8%	6.6%	20.9%	18.6%	35.2%	37.2%	38.7%	34.6%	18.3%	29.7%	32.1%
地区無答率	0.9%	0.4%	0.1%	0.1%	5.5%	1.6%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.3%	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	8.2%	0.8%	2.2%	7.1%	7.6%

- 「基礎・基本」については、平均通過率が 82.9%と高く、定着が図られている。しかし、ことわざの意味を問う問題（大問2の一の2）の通過率が 65.6%であり、目安とする8割を下回った。ことわざは、生活経験などにおいてありがちなことを述べていることが多いことから、日頃から用い、定着させたい。
- 「思考・表現」では文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること（大問3の三）に課題がある。文章中のことばにこだわり、表現する活動を授業の中に位置付け、計画的に指導を行っていききたい。

中学校1年 国語

	県	地区	県との差
基礎・基本	82.9	82.8	-0.1
思考・表現	73.8	72.4	-1.4
全体	78.7	78.0	-0.7

領域名	県	地区	県との差
話す・聞く	71.5	71.7	0.2
書く	81.0	77.1	-3.9
読む	70.9	70.2	-0.7
伝国	82.9	82.8	-0.1



【小問ごとと通過率等】

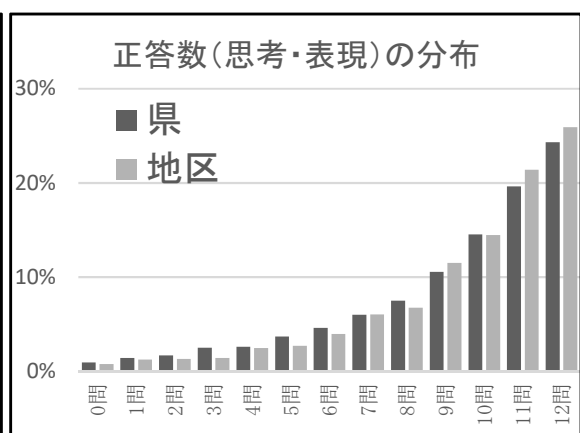
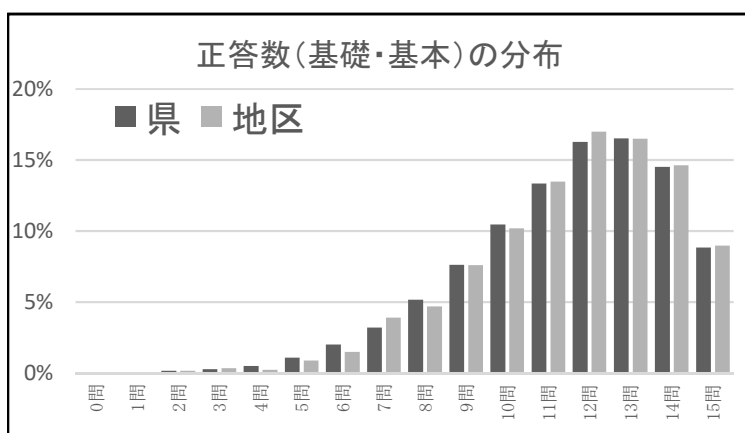
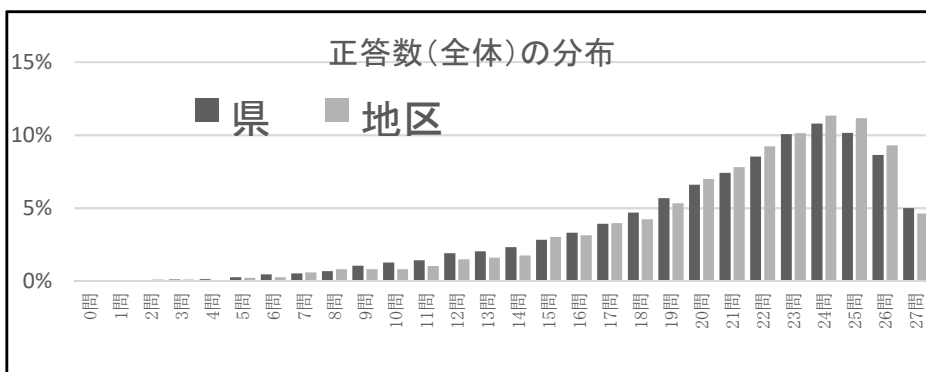
大問番号	[1]								[2]					[3]							[4]				
中間番号	一			二	三	四	五		一	二	三			一	二	三	四			一	二	三			
小問番号	1	2	3				1			1	2	3				1	2	3			1	2	3		
県通過率	99.0%	96.2%	90.6%	84.7%	57.3%	85.1%	87.8%	66.1%	71.4%	94.7%	69.8%	89.8%	84.7%	90.5%	77.8%	67.6%	82.5%	85.9%	74.5%	85.3%	40.7%	64.2%	78.8%	63.5%	
地区通過率	99.0%	96.5%	90.4%	85.1%	56.3%	83.7%	87.4%	64.8%	72.8%	94.2%	68.4%	90.5%	86.9%	89.3%	76.7%	67.9%	76.4%	82.0%	72.8%	86.7%	40.0%	64.1%	79.4%	60.7%	
地区誤答率	0.9%	3.4%	8.1%	14.8%	34.1%	16.1%	12.3%	34.7%	27.1%	5.8%	26.1%	9.3%	13.0%	10.3%	23.1%	26.8%	16.9%	11.3%	20.3%	13.0%	51.6%	35.0%	19.4%	30.6%	
地区無答率	0.2%	0.2%	1.5%	0.1%	9.7%	0.3%	0.3%	0.5%	0.2%	0.0%	5.5%	0.2%	0.2%	0.4%	0.2%	5.3%	6.7%	6.7%	7.0%	0.4%	8.4%	0.9%	1.2%	8.6%	

- 「基礎・基本」については、平均通過率が82.8%と高く、定着が図られている。しかし、漢字の部首名を問う問題（大問1の三）の通過率が56.3%である上に、無解答率も9.7%と高かった。「へん」や「つくり」については、機会があるごとに注目させ、確実に定着させたい。
- 「思考・表現」については、登場人物の心情を捉えること（大問4の二）に課題がある。言葉を手掛かりにしながら文脈をたどり、観点を定めて読ませたり、行動や情景の描写などに注意させたりしながら、表現させる活動を位置付けたい。

中学校2年 国語

	県	地区	県との差
基礎・基本	76.8	77.1	0.3
思考・表現	76.6	78.8	2.2
全体	76.7	77.9	1.2

領域名	県	地区	県との差
話す・聞く	71.6	73.6	2.0
書く	74.3	78.6	4.3
読む	78.4	80.2	1.8
伝国	76.8	77.1	0.3



【小問ごとと通過率等】

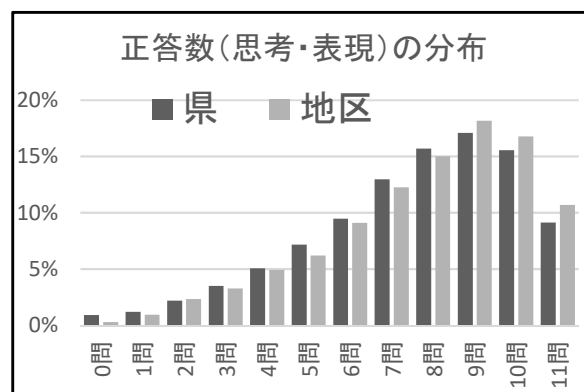
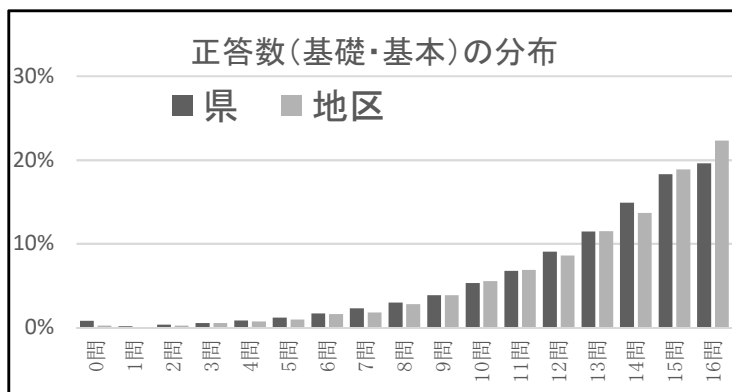
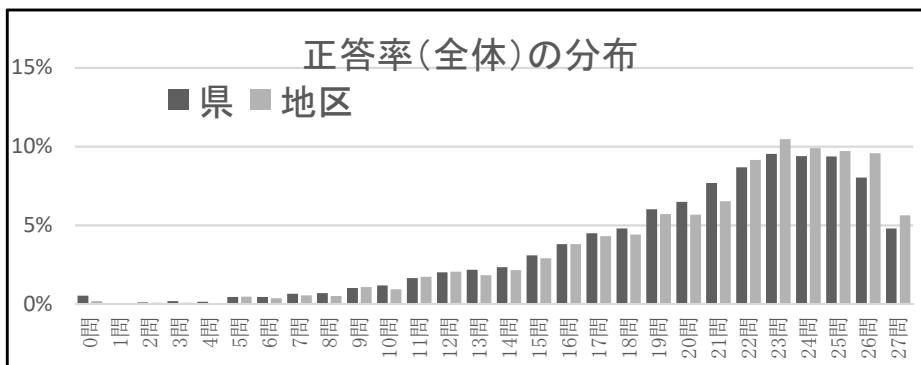
大問番号	[1]										[2]				[3]					[4]							
中間番号	一				二		三	四	五	六	一	二	三	四	一	二	三	四	五	一	二						
小問番号	1	2	3	4	1	2				1	2								①	②	1	2	1	2	3①	3②	
県通過率	92.4%	98.9%	87.9%	53.7%	45.3%	60.4%	81.2%	78.5%	59.6%	89.7%	71.5%	91.6%	89.2%	90.8%	80.7%	80.1%	76.4%	74.7%	72.6%	78.0%	70.6%	75.6%	67.6%	89.5%	90.6%	73.2%	70.1%
地区通過率	92.7%	99.3%	88.0%	55.4%	48.3%	59.7%	81.5%	77.8%	56.3%	90.0%	72.9%	92.2%	89.2%	91.5%	81.6%	81.9%	78.9%	77.7%	75.2%	82.7%	74.5%	78.6%	68.5%	90.6%	91.6%	75.4%	70.4%
地区誤答率	6.8%	0.6%	10.6%	41.9%	51.2%	36.7%	18.5%	22.2%	43.6%	9.7%	27.0%	7.3%	30.7%	8.3%	18.3%	17.8%	20.8%	15.0%	24.0%	7.5%	15.3%	20.8%	24.8%	6.1%	7.0%	12.0%	16.7%
地区無答率	0.5%	0.2%	1.4%	2.7%	0.5%	3.6%	0.1%	0.0%	0.2%	0.3%	0.1%	0.6%	0.1%	0.2%	0.2%	0.3%	0.2%	7.4%	0.7%	9.7%	10.2%	0.6%	6.7%	3.4%	1.4%	12.6%	12.9%

- 「基礎・基本」については、平均通過率が77.1%と目安とする8割を下回っている。特に、動詞の活用形を問う問題（大問1の二の1）の通過率が48.3%と大きな課題がある。単語の類別と関連付けながら確実な定着を図りたい。
- 「思考・表現」については、平均通過率が78.8%と目安とする通過率を大きく上回っている。しかしながら、無解答率が高い問題も散見された。表現する活動は継続した取組が必要であることから、教育課程への位置付けを適切に行うことはもちろんであるが、字数や時間といった条件を付けた表現活動をさせていくようにしていきたい。

小学校5年 社会

	県	地区	県との差
基礎・基本	80.5	81.6	1.1
思考・表現	68.2	70.0	1.8
全体	75.5	76.9	1.4

領域名	県	地区	県との差
国土の様子	75.3	77.6	2.3
農業	72.8	75.3	2.5
水産業	76.9	77.7	0.8
工業	79.8	79.2	-0.6
運輸・貿易	59.8	62.5	2.7



【小問ごと通過率等】

大問番号	[1]			[2]				[3]					[4]			[5]				[6]							
中間番号	(1)		(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)		(5)		(1)	(2)	(3)		(1)	(2)		(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
小問番号	ア	イ										①	②	①	②			①	②		①	②					
県通過率	90.0%	76.0%	69.7%	86.1%	91.2%	74.8%	41.6%	73.3%	76.5%	89.2%	59.7%	71.1%	85.4%	77.9%	49.5%	85.3%	62.5%	84.9%	74.8%	96.7%	87.8%	93.2%	51.0%	70.6%	70.0%	89.1%	59.8%
地区通過率	91.6%	81.7%	70.9%	86.0%	93.6%	76.0%	45.6%	75.0%	78.0%	90.0%	67.3%	72.9%	86.3%	79.0%	53.7%	84.5%	69.3%	80.0%	76.9%	97.3%	87.2%	93.0%	48.0%	69.8%	68.4%	90.7%	62.5%
地区誤答率	7.7%	15.6%	28.9%	13.5%	5.6%	23.8%	53.1%	23.1%	21.9%	9.7%	26.2%	26.5%	13.2%	17.5%	40.1%	15.1%	30.3%	15.9%	18.7%	2.1%	12.1%	6.3%	51.2%	22.3%	23.8%	8.5%	36.5%
地区無答率	0.7%	2.6%	0.2%	0.4%	0.9%	0.1%	1.3%	1.9%	0.1%	0.3%	6.5%	0.6%	0.5%	3.5%	6.2%	0.4%	0.4%	4.1%	4.4%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	7.9%	7.8%	0.8%	1.0%

○ 「基礎・基本」については、平均通過率が 81.6%と十分な定着が図られている。一方、日本の工業の特色に関する問題については 68.4%と低く、無解答率も高くなっている。地図帳を活用し、それぞれの特徴や位置関係を把握させるなどの手立てが必要である。また、白地図に記入させる活動も効果的である。

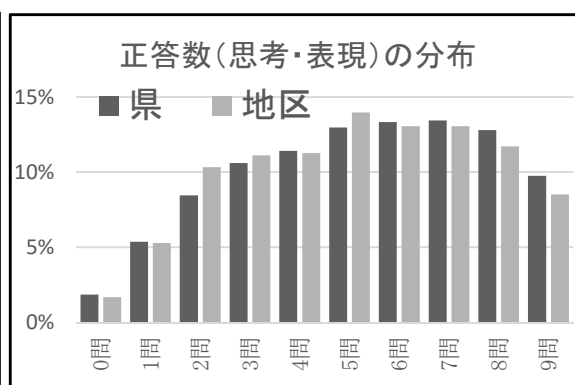
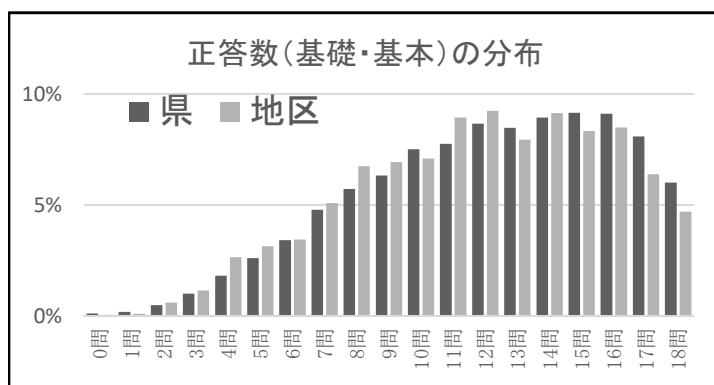
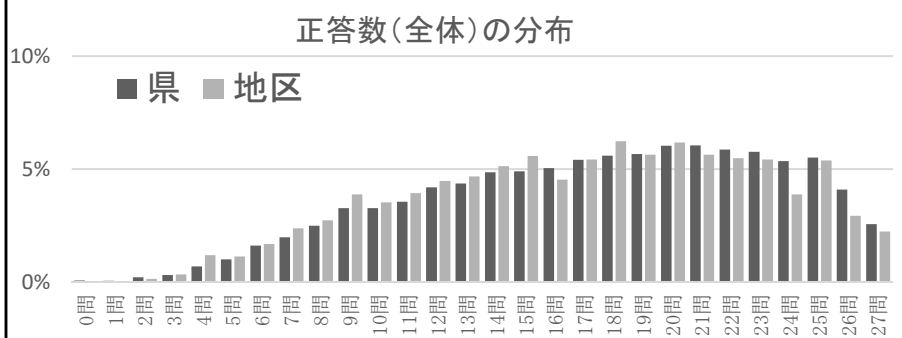
○ 「思考・表現」については、平均通過率は 70.0%と概ね定着が図られているといえる。しかし、資料を基に説明が必要な問題等についての通過率が低く、無解答率が高くなる傾向にある。与えられた資料からどこに着目すればいいかなどのポイントに児童自らが気付くことができるような指導が必要である。

中学校1年 社会

	県	地区	県との差
基礎・基本	67.1	64.8	-2.3
思考・表現	58.8	57.2	-1.6
全体	64.4	62.3	-2.1

領域ごと

	県	地区	県との差
世界の地域構成	64.9	62.5	-2.4
人々の生活と環境	63.3	63.1	-0.2
世界の諸地域	61.2	60.5	-0.7
歴史のとらえ方	76.5	72.2	-4.3
古代までの日本	62.8	60.0	-2.8



【小問ごとと通過率等】

大問番号	[1]				[2]				[3]						[4]					[5]					[6]		
中間番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)
県通過率	78.2%	64.2%	47.6%	69.6%	80.7%	60.2%	47.5%	64.8%	52.7%	69.0%	49.1%	61.1%	80.7%	54.7%	69.0%	50.3%	85.0%	87.6%	79.6%	65.4%	52.9%	53.7%	33.6%	50.6%	75.3%	85.9%	68.4%
地区通過率	77.7%	61.7%	42.3%	68.1%	79.5%	61.2%	48.1%	63.5%	48.1%	67.9%	48.4%	60.5%	84.1%	53.7%	69.6%	43.1%	84.4%	88.0%	73.1%	57.5%	51.4%	50.3%	32.6%	50.1%	71.8%	86.1%	58.5%
地区誤答率	22.1%	37.9%	56.1%	31.7%	20.1%	38.5%	48.5%	35.4%	51.3%	31.5%	42.6%	39.0%	8.8%	45.2%	29.9%	47.3%	15.2%	8.9%	20.6%	34.2%	31.9%	36.4%	66.7%	49.1%	26.1%	9.4%	40.4%
地区無答率	0.2%	0.4%	1.6%	0.2%	0.4%	0.2%	3.4%	1.0%	0.5%	0.6%	9.0%	0.5%	7.0%	1.0%	0.5%	9.6%	0.4%	3.0%	6.3%	8.3%	16.7%	13.3%	0.7%	0.8%	2.1%	4.5%	1.0%

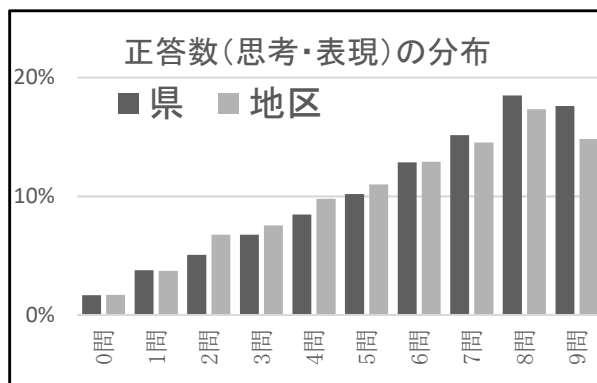
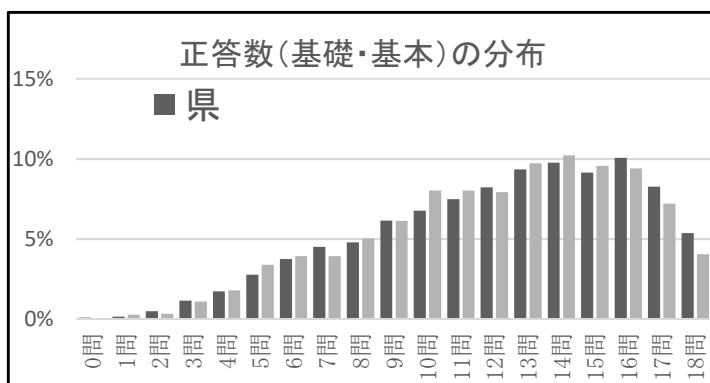
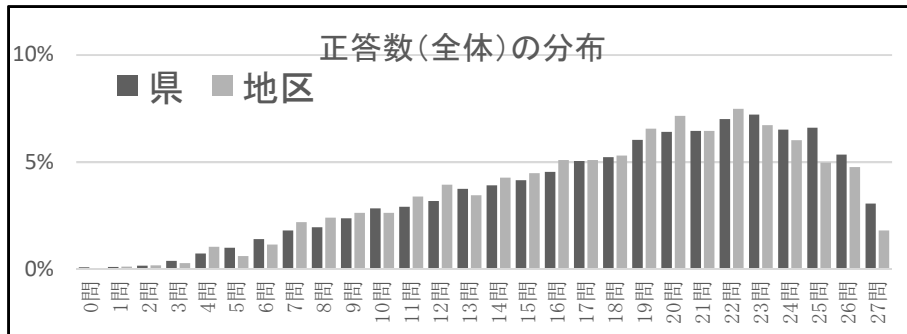
- 「基礎・基本」については、平均通過率が 64.8%であり、地図の特色から大陸の名称を答える問題やパリの位置を問う問題など社会的事象に関して知識を問う問題の通過率が低くなっている。また、平安時代の文化に関する問題についても極端に低い通過率を示している。教科書を読み、板書を転記するだけの授業から脱却し、地図帳や白地図の積極的な活用を図り、国や都市などの位置を確認したり、様々な文化の特色を比較させて、その違いを説明させたりするといった授業の工夫を図りたい。
- 「思考・表現」については、平均通過率は 57.2%と低くなっている。特に、四大文明に関する問題が 43.1%と低くなっている。古代文明に共通する特徴を説明する問題である。意味まで理解させるとともに事象について説明する内容を書かせる活動を充実させるなどの授業改善が必要である。

中学校2年 社会

	県	地区	県との差
基礎・基本	67.6	66.5	-1.1
思考・表現	67.6	65.0	-2.6
全体	67.6	66.0	-1.6

領域ごと

	県	地区	県との差
日本の地域構成	70.3	70.7	0.4
日本の地域的特色	75.7	73.9	-1.8
日本の諸地域	62.3	61.5	-0.8
近世の日本	65.1	62.5	-2.6



【小問ごとと通過率等】

大問番号	[1]					[2]					[3]				[4]					[5]				[6]			
中間番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)
県通過率	61.9%	80.3%	88.3%	56.4%	64.8%	61.0%	61.0%	97.5%	76.0%	83.0%	31.6%	88.6%	62.8%	65.9%	61.8%	55.4%	78.8%	67.1%	74.5%	71.2%	59.1%	85.2%	61.8%	71.3%	65.0%	51.5%	43.5%
地区通過率	63.0%	80.0%	88.4%	55.5%	66.7%	60.9%	58.2%	98.0%	72.2%	80.4%	33.6%	88.3%	60.2%	64.0%	61.6%	51.8%	74.6%	64.0%	70.5%	70.8%	58.1%	84.8%	55.4%	72.7%	61.2%	45.2%	41.3%
地区誤答率	36.7%	19.7%	11.6%	40.1%	29.6%	38.5%	37.5%	1.5%	27.4%	12.1%	47.6%	11.3%	39.4%	30.5%	38.0%	21.6%	20.1%	26.5%	28.9%	17.5%	34.6%	13.8%	33.5%	26.3%	38.0%	43.8%	57.3%
地区無答率	0.3%	0.3%	0.1%	4.3%	3.7%	0.6%	4.3%	0.5%	0.4%	7.5%	18.8%	0.4%	0.4%	5.6%	0.4%	26.5%	5.3%	9.5%	0.5%	11.7%	7.3%	1.5%	11.1%	0.9%	0.9%	11.0%	1.4%

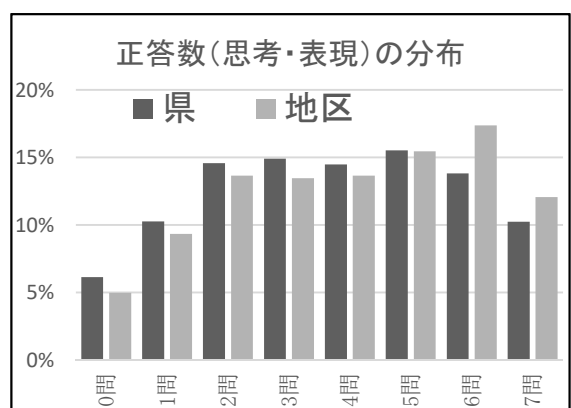
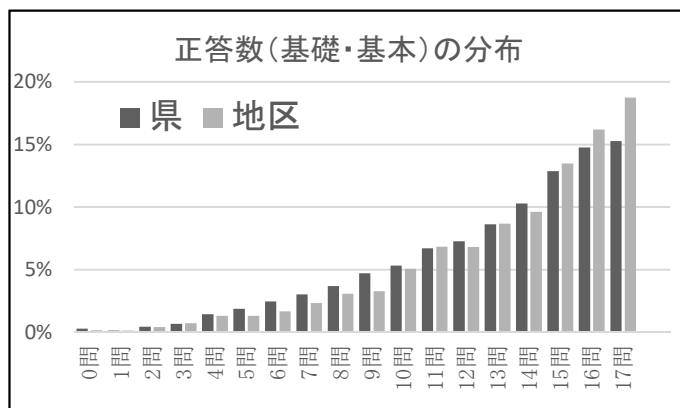
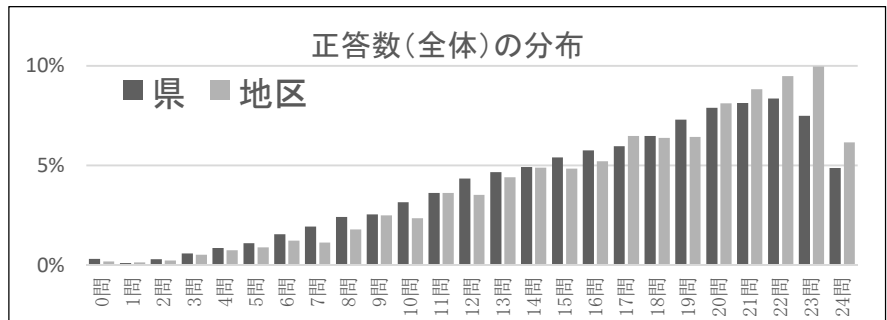
- 「基礎・基本」については、平均通過率が 66.5%で、県の通過率より低くなっている。社会的事象に関して写真や資料から読み取って、いくつかの知識を結び付ける問題での通過率が低い。また、中世ヨーロッパの文化についての無解答率が高くなっている。
- 「思考・表現」については、平均通過率は 65.0%であり、地理では日本が海洋国であることを説明する問題が、歴史では江戸時代の日本の商業の特徴についての問題の通過率が低くなっている。どちらも複数の資料を読み取り、関連付けながら説明する問題である。資料を多面的・多角的に捉えさせ、自分の言葉でまとめさせる活動が必要である。

小学校5年 算数

	県	地区	県との差
基礎・基本	75.9	78.5	2.6
思考・表現	53.7	56.9	3.2
全体	69.4	72.2	2.8

領域ごと

	県	地区	県との差
数と計算	76.0	78.8	2.8
図形	67.8	70.1	2.3
測定・変化	70.4	73.8	3.4
データの活	36.7	40.0	3.3



【小問ごとと通過率等】

大問番号	[1]						[2]		[3]			[4]		[5]	[6]	[7]		[8]		[9]			[10]	
中間番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(1)	(2)	(1)	(2)	(2)	(1)	(2)			(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)
小問番号											① ②									0000				
県通過率	99.3%	85.9%	83.7%	77.3%	64.1%	76.8%	77.6%	82.5%	76.8%	75.2%	56.5%	52.4%	70.3%	71.1%	71.4%	96.1%	82.5%	51.3%	41.9%	85.9%	68.1%	55.6%	37.5%	35.3%
地区通過率	99.6%	89.1%	87.2%	77.5%	68.7%	80.8%	81.9%	64.2%	79.0%	77.9%	60.4%	58.8%	71.6%	73.7%	73.1%	96.7%	93.5%	58.6%	46.4%	86.9%	68.5%	58.0%	41.5%	38.5%
地区誤答率	0.3%	10.4%	12.1%	20.9%	30.7%	18.7%	17.8%	34.9%	19.8%	20.2%	37.5%	41.0%	28.2%	26.0%	26.0%	3.2%	6.3%	38.1%	43.6%	11.6%	29.1%	34.7%	49.4%	50.4%
地区無答率	0.1%	0.4%	0.7%	1.6%	0.7%	0.5%	0.2%	0.9%	1.2%	1.6%	2.1%	0.2%	0.2%	0.3%	0.8%	0.1%	0.2%	3.3%	10.0%	1.5%	2.4%	7.3%	9.1%	11.1%

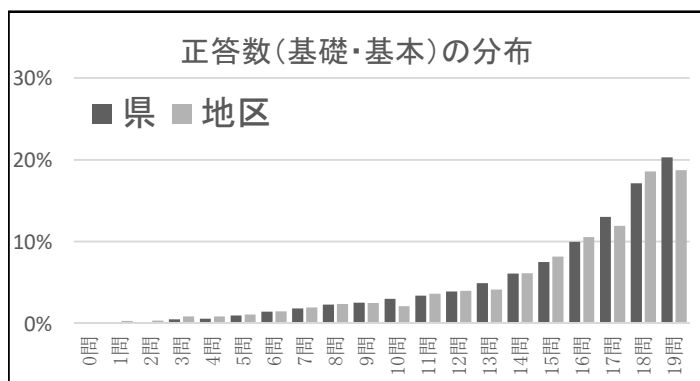
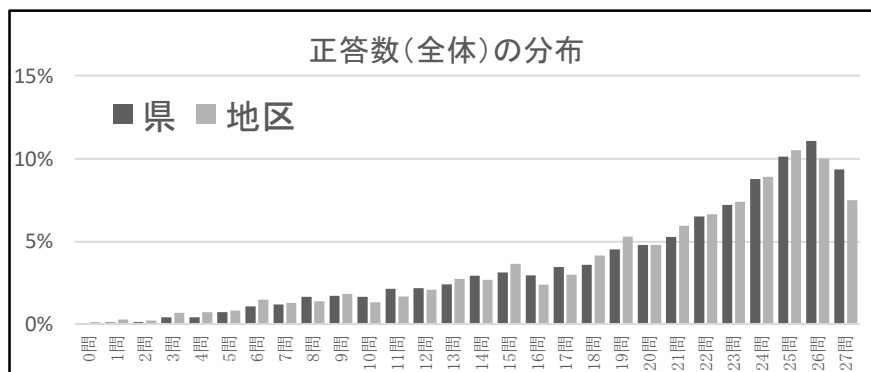
- 「基礎・基本」については、平均通過率が78.5%と目安とする8割には達しなかった。特に、四角形の対角線の性質を問う問題(大問4の1)は通過率が58.8%であった。確実な定着に向けては、操作的な活動を取り入れながら、体験的に学ばせたい。
- 「思考・表現」については平均の求め方や、グラフを正確に読み取り変化の様子を説明することに課題が見られる。様々なグラフに触れさせながら、考えを説明する場面を適切に位置付けていきたい。

中学校1年 数学

	県	地区	県との差
基礎・基本	80.4	80.0	-0.4
思考・表現	61.7	60.2	-1.5
全体	74.8	74.2	-0.6

領域ごと

	県	地区	県との差
数と式	75.1	74.6	-0.5
図形	79.5	78.0	-1.5
関数	72.1	73.3	1.2
資料の活用	71.3	70.0	-1.3



【小問ごとと通過率等】

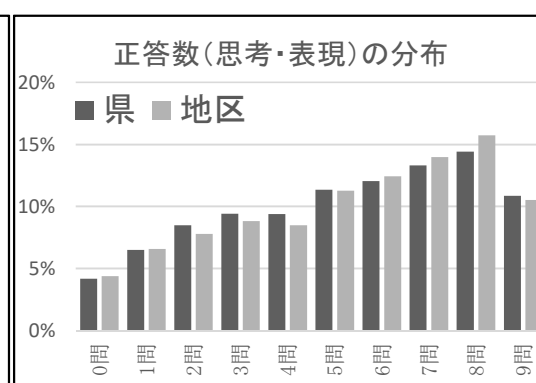
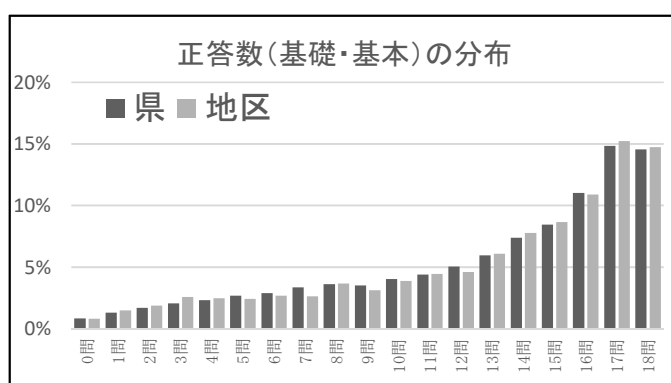
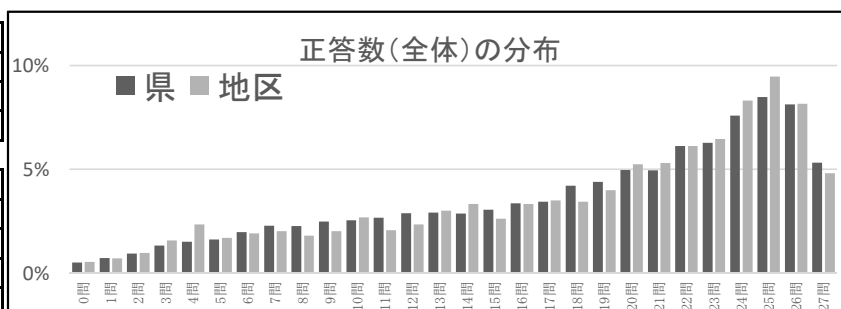
大問番号	[1]					[2]						[3]			[4]		[5]		[6]		[7]						
中間番号	1					2	3	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	1	2	1	2	3				
小問番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)							(1)	(2)					(1)	(2)								
県通過率	91.2%	79.5%	84.4%	80.2%	72.1%	68.5%	77.7%	79.5%	74.3%	79.6%	67.8%	71.0%	89.2%	59.8%	94.6%	87.8%	59.0%	91.9%	63.9%	90.5%	65.1%	40.7%	76.6%	68.7%	89.9%	42.2%	75.4%
地区通過率	90.3%	82.1%	84.7%	79.7%	72.8%	66.4%	77.3%	81.1%	74.1%	77.3%	67.8%	73.6%	88.5%	58.9%	93.8%	86.0%	56.6%	91.1%	62.2%	89.3%	63.2%	38.4%	77.6%	68.8%	89.4%	39.1%	74.3%
地区誤答率	9.6%	17.8%	14.7%	16.2%	23.3%	33.5%	19.7%	17.9%	22.8%	18.5%	27.5%	25.6%	10.0%	38.9%	5.9%	13.5%	40.8%	7.6%	36.4%	9.8%	32.4%	55.5%	18.3%	26.2%	7.7%	54.1%	21.6%
地区無答率	0.1%	0.2%	0.6%	4.1%	3.9%	0.2%	3.1%	1.1%	3.2%	4.3%	4.7%	0.8%	1.6%	2.2%	0.3%	0.5%	2.6%	1.4%	1.4%	1.0%	4.4%	6.1%	4.2%	5.0%	2.9%	6.8%	4.1%

- 「基礎・基本」については、平均通過率が 80.0%と目安とする8割であり、定着が図られている。しかし、立体の体積を求める問題（大問3の3）の通過率が 56.6%であり、課題が見られる。小学校で学んだことと関連させながら学習を深めたり、実験による測定を行ったりしながら、確実な定着を図りたい。
- 「思考・表現」については、事象の規則性を方程式を用いて解いたり、四角形や対角線を用いて組み合わせを求めたりすることに課題が見られる。授業で扱う頻度が高くないことがこのような結果を招いたひとつの要因と考えられることから、適切な時期に復習させるように心がけたい。

中学校2年 数学

	県	地区	県との差
基礎・基本	71.3	71.5	0.2
思考・表現	58.5	59.8	1.3
全体	67.0	67.6	0.6

領域ごと	県	地区	県との差
数と式	75.3	75.4	0.1
図形	63.5	63.6	0.1
関数	70.1	71.2	1.1
資料の活用	46.8	48.6	1.8



【小問ごとと通過率等】

大問番号	【1】				【2】		【3】		【4】				【5】			【6】			【7】			【8】					
中問番号	1				2	3	1	2	1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4		
小問番号	(1)	(2)	(3)	(4)																							
県通過率	91.8%	78.6%	81.9%	88.3%	63.7%	63.6%	73.6%	74.1%	69.0%	68.2%	79.5%	54.5%	61.5%	75.6%	82.6%	60.7%	69.1%	68.1%	56.7%	48.4%	85.0%	67.8%	60.5%	66.5%	40.4%	42.2%	38.0%
地区通過率	91.2%	77.6%	82.0%	88.8%	63.8%	63.5%	72.9%	73.4%	70.1%	67.5%	80.1%	51.6%	63.6%	74.9%	82.9%	62.8%	70.7%	69.2%	55.7%	48.8%	86.0%	70.6%	61.7%	66.4%	43.9%	45.8%	38.4%
地区誤答率	8.5%	21.6%	17.7%	8.7%	31.8%	26.3%	17.3%	23.4%	24.5%	31.0%	14.9%	41.5%	33.3%	21.2%	11.0%	17.4%	11.1%	24.5%	41.8%	33.3%	10.0%	24.8%	35.6%	23.1%	43.0%	24.5%	55.0%
地区無答率	0.3%	0.7%	0.3%	2.5%	4.4%	10.2%	9.8%	3.2%	5.4%	1.5%	5.0%	6.8%	3.2%	3.9%	6.1%	19.8%	18.2%	6.3%	2.5%	17.9%	4.1%	4.7%	2.7%	10.5%	13.1%	29.7%	6.6%

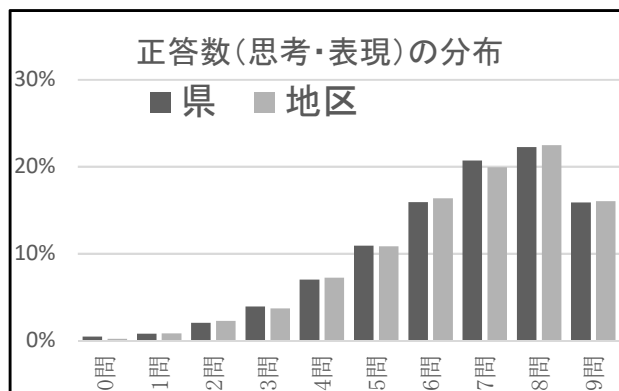
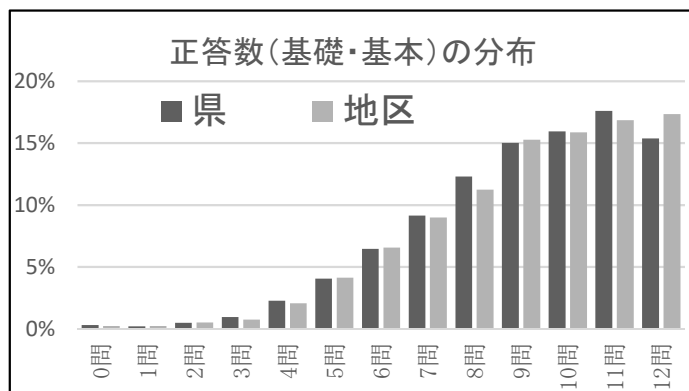
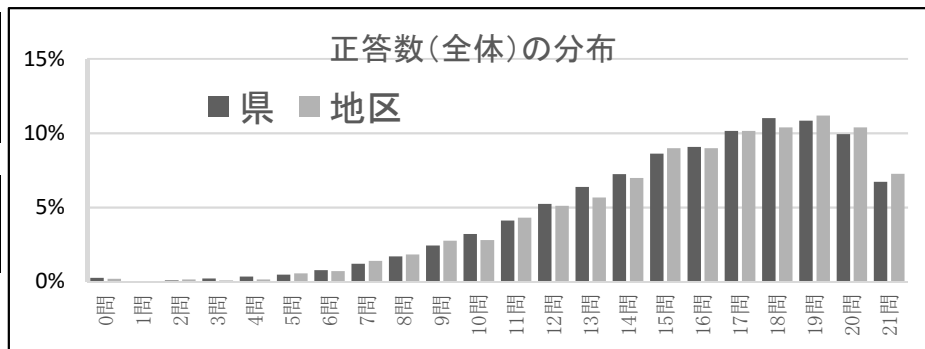
- 「基礎・基本」については、与えられた資料の代表値を適切に求める問題の通過率が43.9%である上に、無解答率が13.1%であり、定着が図られていない。平均値、中央値、最頻値といった語を適切に理解させることが必要であることから、適切な時期の振り返りを大切にしたい。
- 「思考・表現」については、ヒストグラムと中央値を用いて説明する問題や合同を用いて二等辺三角形であることを説明する問題に課題が見られる。授業では習得した知識・技能を活用させ、説明させる問題に取り組ませることを計画的に行っていききたい。

小学校5年 理科

	県	地区	県との差
基礎・基本	75.8	76.3	0.5
思考・表現	73.7	73.7	0.0
全体	74.9	75.2	0.3

領域ごと

領域名	県	地区	県との差
物質・エネルギー	72.0	72.1	0.1
生命・地球	78.8	79.3	0.5



【小問ごとと通過率等】

大問番号	[1]			[2]		[3]			[4]			[5]			[6]				[7]		
中間番号	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)
小問番号																					
県通過率	67.5%	86.7%	94.4%	64.0%	64.7%	86.3%	91.5%	63.1%	55.6%	86.8%	76.8%	94.8%	82.1%	80.9%	51.2%	78.1%	88.3%	66.2%	72.7%	49.3%	71.5%
地区通過率	68.2%	86.1%	95.0%	67.5%	63.5%	86.2%	91.0%	62.4%	57.0%	86.9%	80.6%	95.2%	82.0%	81.6%	51.9%	77.4%	88.5%	67.1%	72.2%	50.4%	68.3%
地区誤答率	31.7%	12.4%	4.9%	32.4%	36.3%	13.7%	9.0%	37.5%	42.9%	13.1%	18.5%	4.2%	16.8%	18.2%	48.0%	20.6%	10.5%	32.8%	27.6%	48.0%	31.6%
地区誤答率	0.1%	1.5%	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.9%	0.6%	1.3%	0.2%	0.1%	2.0%	0.9%	0.1%	0.2%	1.6%	0.2%

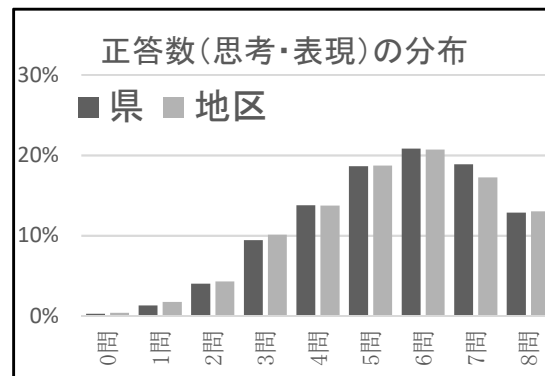
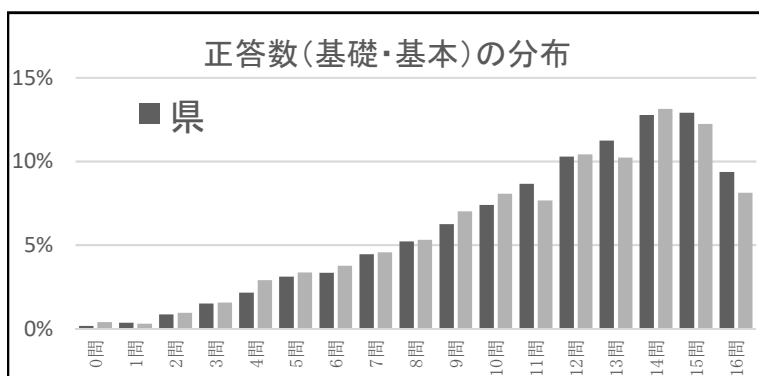
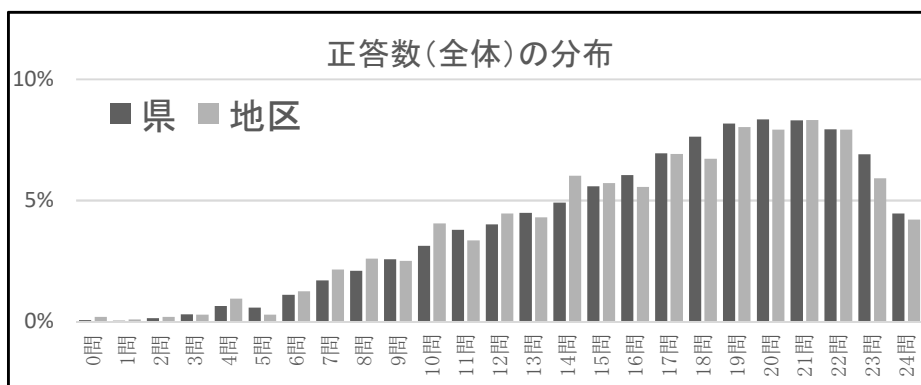
- 「基礎・基本」については、目標通過率の8割を達することができていない。「花粉はおしべの先にあることと、ヘチマやアサガオの花のつくりの理解を問う問題」「閉じ込めた空気、水を圧したときのそれぞれの体積の変化の理解を問う問題」の通過率に課題がある。指導に当たっては、観察において、顕微鏡を適切に操作して、特徴を捉えることができるようにすることや実験を通して、体感などを基にしながら調べ、図や絵を用いて表現できるようにしたい。
- 「思考・表現」については、「物が溶ける前と後の重さの違いについて、予想したことに対する実験結果の見通しを適切に考察することができるかを問う問題」の通過率に課題がある。指導に当たっては、予想や仮説を基に解決の方法を発想し、表現できるようにしたい。

中学校1年 理科

	県	地区	県との差
基礎・基本	71.4	69.7	-1.7
思考・表現	68.2	67.3	-0.9
全体	70.3	68.9	-1.4

領域ごと

	県	地区	県との差
物理	69.8	68.6	-1.2
化学	67.6	65.6	-2.0
生物	71.5	71.0	-0.5
地学	77.3	75.5	-1.8



【小問ごとと通過率等】

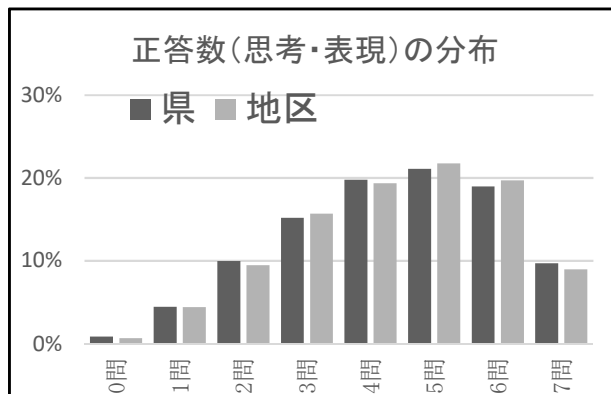
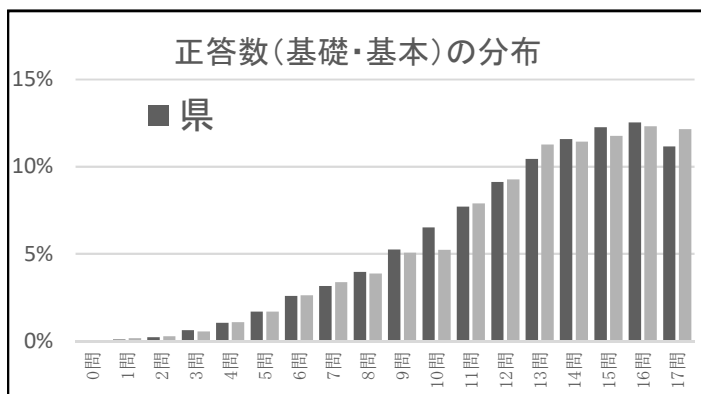
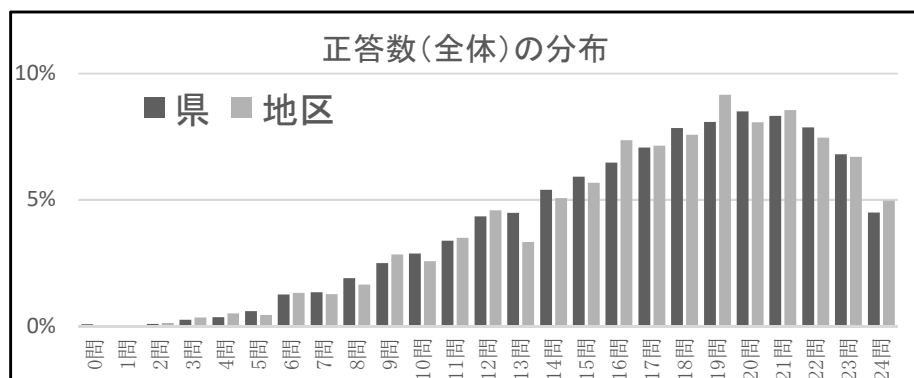
大問番号	[1]			[2]			[3]		[4]			[5]			[6]			[7]			[8]			
中間番号	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)
県通過率	78.5%	62.8%	87.5%	64.4%	42.7%	93.1%	72.6%	65.8%	74.0%	74.0%	42.8%	69.2%	82.8%	79.8%	79.2%	75.3%	60.7%	70.7%	50.7%	82.3%	91.9%	56.6%	69.1%	61.7%
地区通過率	76.6%	63.6%	86.2%	66.8%	39.2%	93.3%	71.4%	64.2%	72.1%	71.6%	42.5%	67.4%	80.7%	78.2%	74.0%	71.6%	61.3%	71.3%	51.3%	82.3%	89.9%	50.4%	67.2%	60.9%
地区誤答率	23.2%	36.1%	10.4%	29.5%	60.3%	6.2%	27.2%	31.2%	27.5%	27.9%	57.1%	32.1%	18.9%	21.1%	21.4%	24.8%	32.9%	23.6%	47.6%	17.2%	6.6%	46.2%	31.4%	37.8%
地区無答率	0.2%	0.3%	3.4%	3.7%	0.5%	0.5%	1.4%	4.6%	0.4%	0.5%	0.4%	0.5%	0.4%	0.7%	4.6%	3.6%	5.8%	5.1%	1.1%	0.6%	3.6%	3.5%	1.4%	1.3%

- 「基礎・基本」については、平均通過率が69.7%と目安とする8割には達していない。特に、昆虫類の仲間に関する問いは39.2%と定着が図られていない。分類の観点や基準について話し合い等を行わせながら、確実な定着を図っていききたい。
- 「思考・表現」については、平均通過率が67.3%と目安とする5割には達していた。しかしながら、密度の概念を活用した問い（大問4の3）は42.5%と課題が残る。目で見えない概念の理解は難しいので、実験や観察等を通して学ばせるとともに、粒子のモデルなどを用いながら生徒に考えさせ、理解を深めさせていきたい。

中学校2年 理科

	県	地区	県との差
基礎・基本	74.3	74.6	0.3
思考・表現	62.3	62.5	0.2
全体	70.8	71.1	0.3

領域名	県	地区	県との差
物理	71.7	72.2	0.5
化学	74.2	75.2	1.0
生物	75.0	74.1	-0.9
地学	61.4	61.9	0.5



【小問ごとと通過率等】

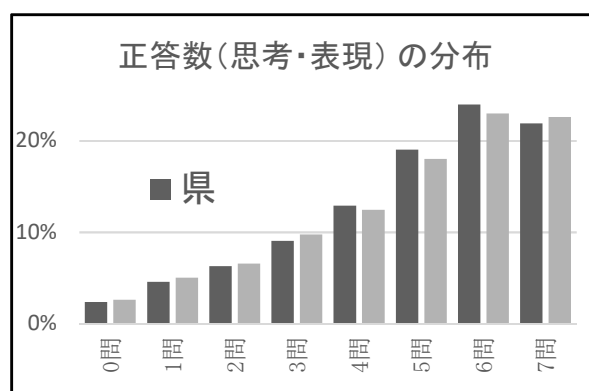
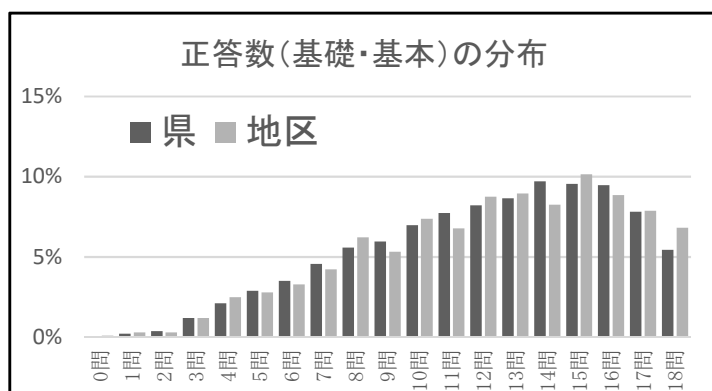
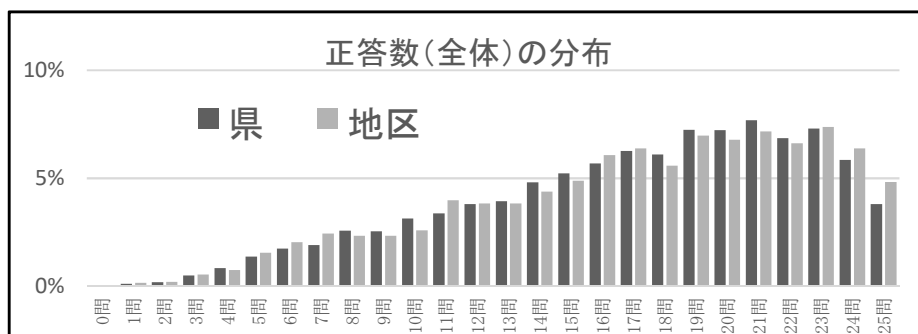
大問番号	[1]			[2]				[3]			[4]			[5]				[6]			[7]			
中間番号	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)		(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
小問番号												ア・イ	ウ											
県通過率	71.4%	95.5%	76.8%	46.8%	87.7%	83.6%	63.3%	69.8%	40.7%	29.5%	74.9%	76.1%	50.3%	85.7%	91.5%	91.2%	71.3%	55.0%	73.3%	92.0%	45.2%	66.0%	81.5%	80.8%
地区通過率	71.8%	95.0%	74.8%	44.2%	87.3%	82.8%	62.9%	70.0%	47.7%	29.9%	75.0%	77.8%	50.7%	85.4%	92.3%	91.4%	72.4%	55.7%	75.8%	91.4%	47.4%	62.2%	80.0%	81.5%
地区誤答率	28.2%	4.3%	25.0%	49.4%	12.6%	17.0%	29.4%	29.9%	43.5%	69.9%	24.6%	20.7%	43.2%	14.2%	7.4%	8.2%	24.6%	41.4%	18.5%	6.0%	42.7%	37.4%	17.2%	18.0%
地区無答率	0.1%	0.7%	0.2%	6.4%	0.1%	0.2%	7.7%	0.1%	8.8%	0.2%	0.4%	1.5%	6.1%	0.4%	0.3%	0.4%	3.0%	2.9%	5.8%	2.6%	9.9%	0.4%	2.8%	0.5%

- 「基礎・基本」については、平均通過率が74.6%と目安とする通過率には達していない。特に、Ⅱ称を問う問題（大問2の1）や示準化石を問う問題（大問3の2）に課題がある。確実な定着を図観察や実験等を通して体験的に学ばせたり、適切な時期に振り返らせたりすることが大切である。
- 「思考・表現」については、平均通過率が62.5%と目安とする通過率に達している。しかしながら、のつながりから、地層の傾きを推測させる問題（大問3の3）の通過率が29.9%と課題が残っているがどのようにつくられるのかを考えさせ、モデル実験などを通して実感を伴う理解を促したい。また、な時期の復習も大切にしたい。

中学校1年 英語

	県	地区	県との差
基礎・基本	67.4	67.3	-0.1
思考・表現	69.7	69.1	-0.6
全体	68.0	67.8	-0.2

領域名	県	地区	県との差
聞くこと	72.8	73.3	0.5
話すこと	60.1	59.8	-0.3
読むこと	71.8	70.9	-0.9
書くこと	54.4	53.9	-0.5



【小問ごとと通過率等】

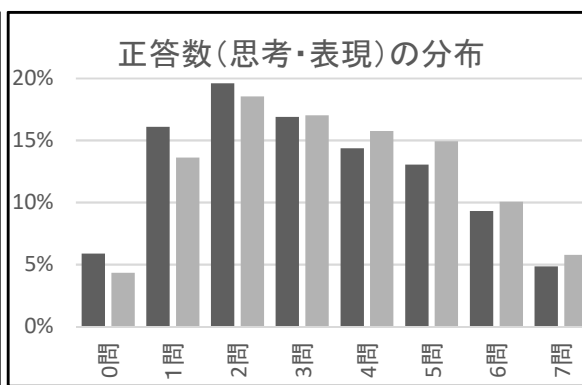
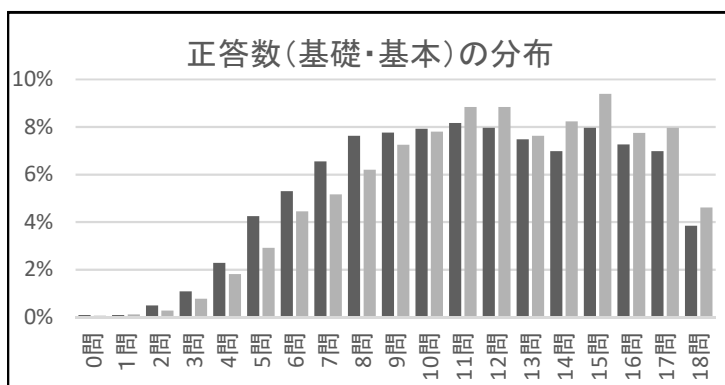
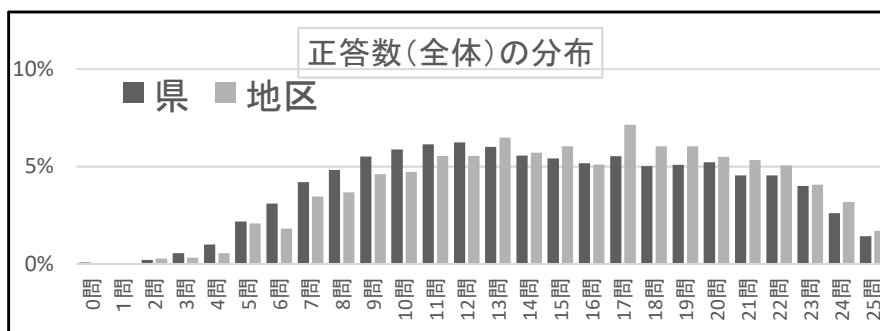
大問番号	[1]			[2]				[3]	[4]		[5]		[6]		[7]		[8]	[9]	[10]		[11]		[12]		
中間番号	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)		(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)			(1)	(2)	(1)	(2)	内容	正確	
小問番号															①	②									
県通過率	64.5%	59.6%	75.8%	48.2%	74.6%	74.8%	87.0%	76.2%	94.5%	72.8%	86.0%	68.6%	83.7%	74.8%	74.8%	66.2%	76.1%	43.6%	72.6%	55.0%	46.1%	30.1%	48.0%	86.2%	60.6%
地区通過率	65.7%	63.5%	75.4%	48.5%	73.2%	76.9%	87.6%	72.9%	94.4%	75.3%	86.4%	69.1%	82.8%	74.9%	73.4%	60.4%	75.1%	45.3%	70.4%	50.5%	52.6%	25.1%	51.0%	85.3%	59.2%
地区誤答率	34.1%	36.3%	24.4%	51.4%	26.7%	22.9%	12.2%	26.9%	4.0%	17.3%	13.3%	30.5%	16.9%	24.7%	26.2%	39.0%	24.3%	54.1%	19.6%	48.4%	46.5%	66.8%	39.8%	10.2%	36.2%
地区無答率	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	1.5%	7.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.5%	0.6%	0.6%	10.0%	1.0%	0.9%	8.0%	9.3%	4.6%	4.6%

- 「基礎・基本」では、対話の場面を理解し、適切な語を入れる問題（大問11の1）の通過率が2という結果で、課題が見られる。日常的な話題に関する文章を読む活動を適切に位置付けたい。またの語形変化等については、繰り返しの取組が必要である。
- 「思考・表現」では、英文から分かることを答える問題（大問8）に課題がある。まとまりのある読ませるような授業展開を心がけながら、まとまりのある文章を読むことに慣れさせていくことが必要である。

中学校2年 英語

	県	地区	県との差
基礎・基本	62.6	65.6	3.0
思考・表現	45.5	48.6	3.1
全体	57.8	60.8	3.0

領域名	県	地区	県との差
聞くこと	67.4	70.3	2.9
話すこと	59.7	62.8	3.1
読むこと	59.0	62.1	3.1
書くこと	48.9	52.0	3.1



【小問ごとと通過率等】

大問番号	[1]			[2]	[3]	[4]	[5]				[6]				[7]	[8]	[9]				[10]		[11]		
中間番号	(1)	(2)	(3)				(1)		(2)		(1)	(2)	(3)		(1)	(2)		(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	内容	正確
小問番号							①	②	①	②			順不同	順不同											
県通過率	57.6%	91.2%	56.7%	81.4%	74.6%	43.2%	51.2%	51.0%	55.9%	57.0%	63.0%	73.4%	82.2%	84.1%	49.8%	40.1%	41.2%	75.3%	68.8%	64.0%	35.9%	30.8%	47.2%	49.4%	20.1%
地区通過率	57.2%	92.2%	60.2%	83.5%	77.8%	50.9%	52.7%	52.7%	59.1%	64.3%	66.9%	78.4%	85.2%	87.4%	51.4%	41.7%	43.5%	76.6%	72.1%	75.2%	37.7%	29.7%	49.7%	53.8%	20.9%
地区誤答率	42.6%	7.7%	39.7%	16.4%	21.6%	28.0%	46.8%	46.8%	40.6%	35.1%	32.6%	21.4%	14.2%	12.1%	47.5%	57.4%	37.3%	22.6%	27.3%	24.1%	61.4%	58.8%	39.0%	33.0%	65.9%
地区無答率	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.6%	21.1%	0.5%	0.5%	0.3%	0.5%	0.5%	0.3%	0.5%	0.5%	1.0%	0.9%	19.2%	0.8%	0.6%	0.7%	0.9%	11.5%	11.3%	13.1%	13.2%

- 「基礎・基本」については、適切な英語を用いて表現する問題（大問10の1）の通過率が29.7%が見られる。生徒が関心をもてるような内容を用いながら、書く活動を計画的に行い、正確に書くようにしたい。
- 「思考・表現」については、まとまりのある英文を読む問題（大問7の2）の通過率が41.7%で課題が見られる。まとまりのある英文を読ませる授業展開を心がける必要がある。また、書くことが見られるため、帯活動等の在り方を再考し、繰り返しを意識した音声からの指導を行っていった。